各 位

 ${
m c}$ 社 名 ${
m r}$ スクル株式 ${
m c}$ 社代表者名 代表取締役社長岩田彰一郎

(コード番号:2678 東証一部)

問合せ先

役職·氏名 財務·IR 統括部長

玉井 継尋

TEL 03-3522-8608

「2011年5月期 第1四半期連結業績概要」のお知らせ

「平成23年5月期第1四半期決算短信」に関する補足説明の資料として、添付の「2011年5月期第1四半期連結業績概要」をお知らせいたします。

なお、本資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予想したものであります。 実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、本資料はその実現を確約、保証するものではございません。

また、本資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

以上

2011年5月期 第1四半期連結業績概要



第1四半期の営業利益は計画を上回る進捗 ~アルファパーチェス社の加入により中期計画の展開を加速~

2010年9月17日 アスクル株式会社

* ASKUL

(ご注意

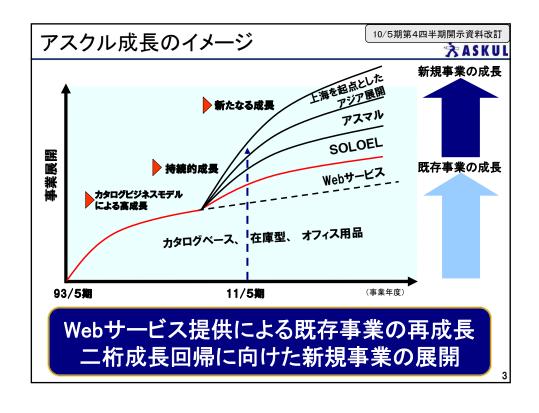
本資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。これら 将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予想し たものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画など とは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではござい ません。また、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

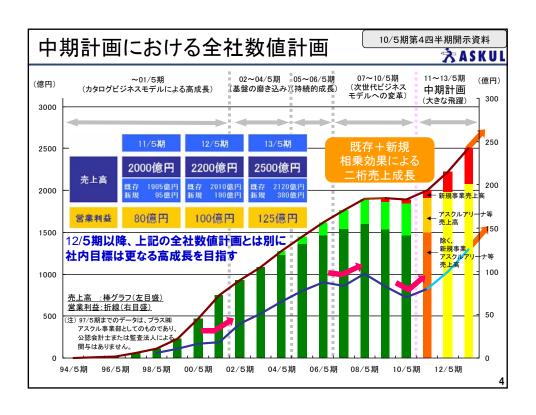
本資料における新規事業とは「SOLOEL」「アスマル(ぽちっとアスクル)」「上海愛速客楽」を指します。既存事業とは新規事業以外を指します。

* ASKUL

I. 現在のステージ

- Ⅱ. 第1四半期業績の概要
- Ⅲ. 新規事業の状況
- Ⅳ. トピックス





業績見通し 10/5期第4四半期開示資料 ASKUL							
	2011年5月期 上期 2011				年5月期 下期		
	金額(百万円)	売上比 (%)	前年同期比	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比(%)	
売上高	95,500	100.0	+2.1	104,500	100.0	+9.4	
売上総利益	22,983	24.1	+3.6	25,600	24.5	+15.4	
販管費	20,183	21.1	+8.6	20,400	19.5	+8.6	
営業利益	2,800	2.9	△22.4	5,200	5.0	+52.7	
経常利益	2,800	2.9	△21.0	5,200	5.0	+54.2	
当期純利益	200	0.2	△87.3	2,800	2.7	+46.3	
資産除去債務計上(一過性の特別損失)の影響 →第1四半期に15億円計上予定							5

*ASKUL

- I. 現在のステージ
- Ⅱ. 第1四半期業績の概要
- Ⅲ. 新規事業の状況
- Ⅳ. トピックス

第	第1四半期業績 NASKUL								
		2010/ 第1四							百万円
		百万円 金 額 (A)	% 売上比	百万円 金 額 (B)	% 売上比	前年 [%] 同期比 (B)/(A)-1	百万円 差 額 (B)-(A)	% 上期 進行率 (B)/(C)	累計計画 (C)
亨	売上高	45,457	100.0	46,383	100.0	+2.0	+925	48.6	95,500
劳	5上総利益	11,094	24.4	10,700	23.1	△3.6	△394	46.6	22,983
則	反管費	8,821	19.4	9,280	20.0	+5.2	+458	46.0	20,183
莒	営業利益	2,272	5.0	1,419	3.1	△37.5	△853	50.7	2,800
糸	圣常利益	2,235	4.9	1,388	3.0	△37.9	△847	49.6	2,800
븰	当期純利益	1,186	2.6	140	0.3	△88.2	△1,046	70.2	200
	資産除去債務計上(一過性の特別損失)の影響 →第1四半期に8億円計上(期初計画15億円)								

第1四半期業績の主なポイント

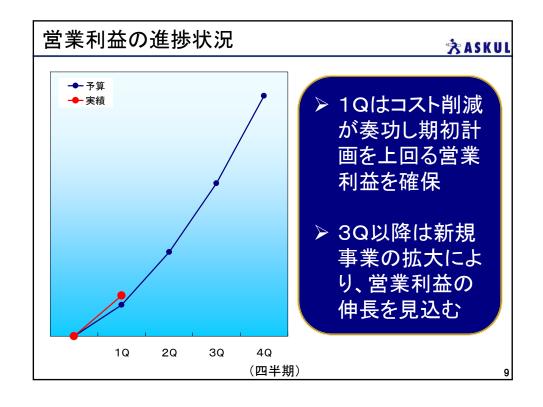
* ASKUL

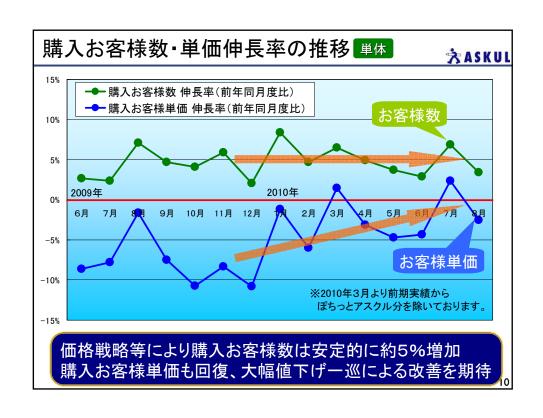
1. 売上高 463億円 前年同期差 +9.2億円 (対前年同期比 +2.0%)

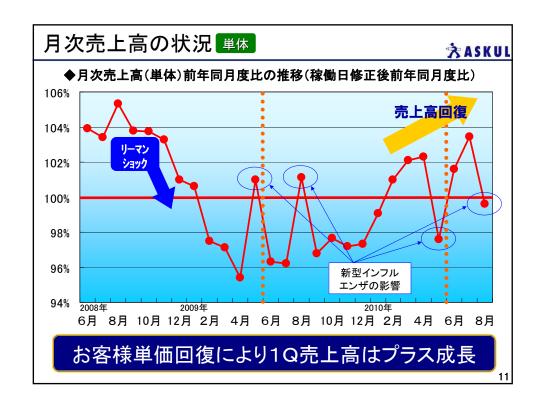
【主な要因】前年度の価格戦略等によるお客様拡大施策が奏功 計画を上回る進捗

- 2. 売上総利益 107億円 前年同期差 △3.9億円 売上総利益率 23.1% (対前年同期差 △1.3ポイント) 【主な要因】売上総利益率の前年同期差は、昨年の8月の大幅値下げの影響 によるもので計画に織り込み済み
- 3. 販管費 92億円 前年同期差 +4.5億円 販管費比率 20.0% (対前年同期差 +0.6ポイント) 【主な要因】成長を牽引する業務統合システム導入等によるソフトウェア償却 費の増加、計画比では着実にコスト削減を推進
- 4. 営業利益 14億円 前年同期差 △8.5億円

営業利益 は対前年同期比で減益となるも コスト削減により計画を上回る進捗







品目別売上高

* ASKUL

	10/5期第1	四半期累計	11/5期第1	四半期累計	(参考)10/5期通期		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額 (百万円)	前年同期比(%)	金額 (百万円)	前期比 (%)	
OA•PC用品	19,425	△3.3	19,426	+0.0	80,333	△ 3.1	
事務用品	10,268	△3.8	10,511	+2.4	43,458	△ 2.6	
オフィス生活用品	9,330	+4.2	10.027	+7.5	37,256	+ 4.1	
オフィス家具	3,306	△24.3	3,636	+10.0	14,495	△ 11.8	
その他	3,126	+48.7	2,781	△11.0	13,447	+ 25.4	
合 計	45,457	△1.6	46,383	+2.0	188,991	△ 0.8	

- 成長分野として注力中のオフィス生活用品は猛暑の後押しもあり引き続き好調維持
- ▶ 景況感に合わせた商品の投入により事務用品・オフィス家具の売上高がプラス転換
- 新型インフルエンザの影響によりその他はマイナスとなるも全体では増収を確保

12

第1四半期の主なポイント

RASKUL

5. 特別損失

8.1億円

(年間計画 20億円)

資産除去債務計上(期初計画15億円)

8.0億円

期初計画では、賃貸借契約の原状回復費用を、取得した見積りを元に積算しておりましたが、当第1四半期において過去に実施した原状回復を勘案の上積算した結果、特別損失が約7億円減少いたしました。

6. 設備投資

ほぼ期首計画通り 4.3億円

(年間計画 30億円)

「アスマル」ECサイト等

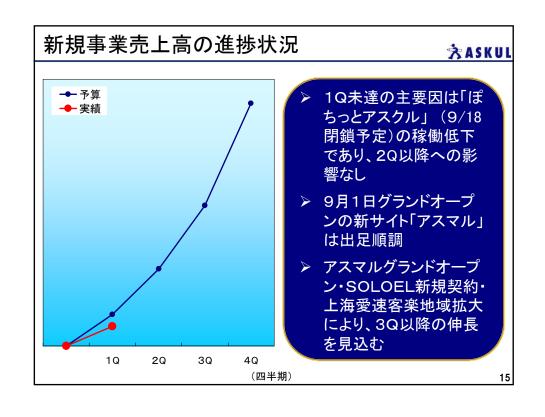
1.3億円

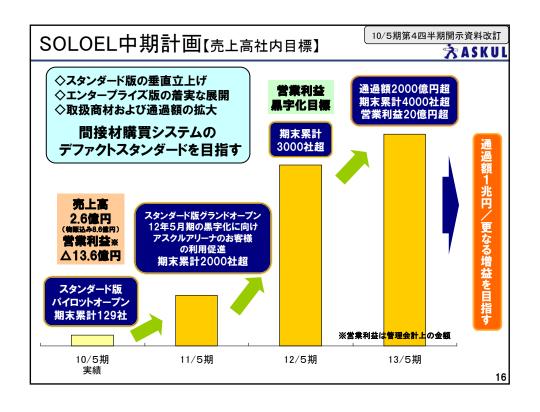
「アスクル・インターネットショップ」ECサイト機能改善 0.9億円 (参考)減価・ソフトウエア償却費 8.8億円(年間計画 39億円)

第1四半期では営業利益が計画対比で上回り、かつ、資産除去債務の計上額も計画対比で少額にとどまったものの、第2四半期において新たな滞留在庫(マスク)の引当計上が約4億円見込まれることと、新カタログが発刊間もないことから、現時点での業績予想は期初計画を据え置きます。

RASKUL

- I. 現在のステージ
- Ⅱ 第1四半期業績の概要
- Ⅲ. 新規事業の状況
- Ⅳ. トピックス





SOLOELエンタープライズの進捗状況

* ASKUL

■8月末現在、7企業グループ、合計135社に導入

- アサヒビールグループ様
- オムロングループ様
- 資生堂グループ様
- ソニーグループ様*
- ・ジェイアール東日本商事様
- ・ワールド様*
- ・三越伊勢丹ビルマネジメント様(8月23日稼動)
- 一位がありてルベインパントは、0月20日18到/
- ・食品メーカーK社様・・・10月上旬までに稼動予定
- ■取り扱い商材数、約1300万SKU**(外部カタログ含む)

■その他

- ・小売業A社様・・・システム利用の最終交渉中
- ・食品メーカーB社様/小売業C社様・・・12月基本合意 に向けて交渉中
- * ソニーグループ様、ワールド様は間接材購買業務のみSOLOELが代行
- * * SKU:Stock Keeping Unitの略、最小在庫管理単位のこと

SOLOELスタンダードの進捗状況

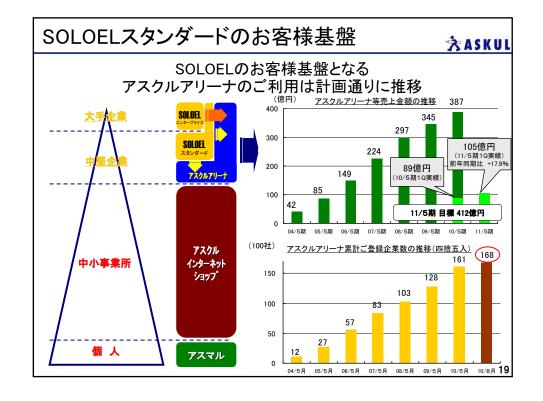
* ASKUL

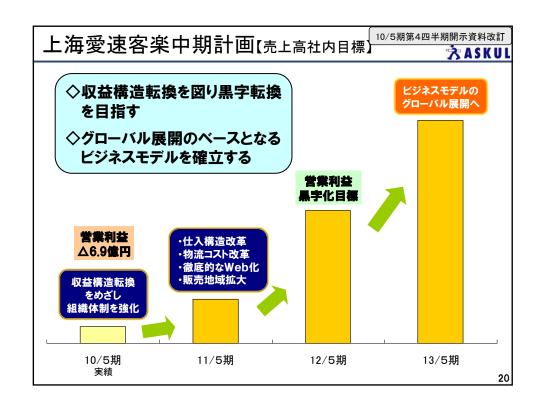
■8月末現在、約80社がご登録

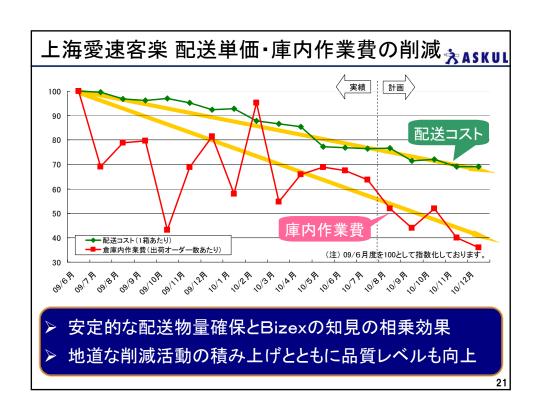
上場企業13社を含む アスクルアリーナからの移管ではない新規のお客様22社を含む 試験運用期間のため、ご登録お客様数を限定

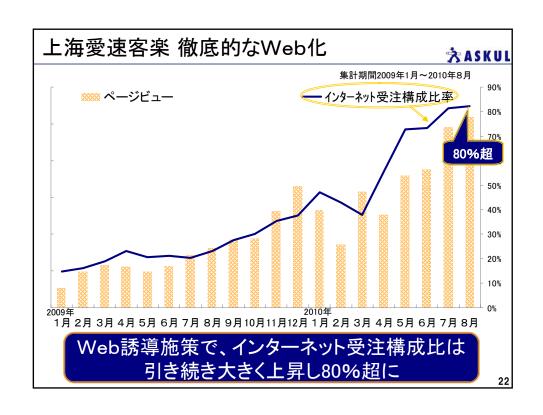
- ■上記お客様にご協力いただき、仮説検証中 試験運用の狙い通りに様々な改善ポイントを抽出
- ■万全な対応を期し 予定通り今期中のグランドオープンを計画 グランドオープン後にアスクルアリーナのお客様を誘導し、垂直立ち上げ 計画通り、今期中に2000社超の導入をめざす
- ■推奨サプライヤ取り扱い商材数、約700万SKU

⇒アルファパーチェスの株式取得による相乗効果に関しては後述



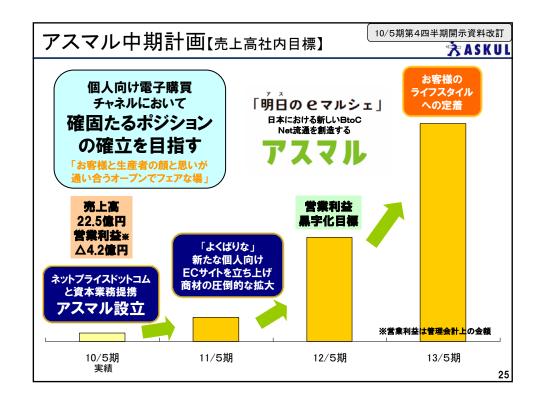


















*ASKUL

- I. 現在のステージ
- Ⅱ. 第1四半期業績の概要
- Ⅲ. 新規事業の状況
- Ⅳ. トピックス

アルファパーチェス株式取得(2010年11月1日予定) ** ASKUL

株式会社アルファパーチェス 会社概要

- ▶2000年に設立、大企業のお客様向けに間接材を提供
- ▶圧倒的な取り扱い商材数と卓越したマスター管理技術を背景に契約 お客様数を順調に拡大
- ▶ファシリティマネジメント事業では商業施設の維持・管理に関する一括 サービスを提供

【財務サマリー(2009年12月期)】

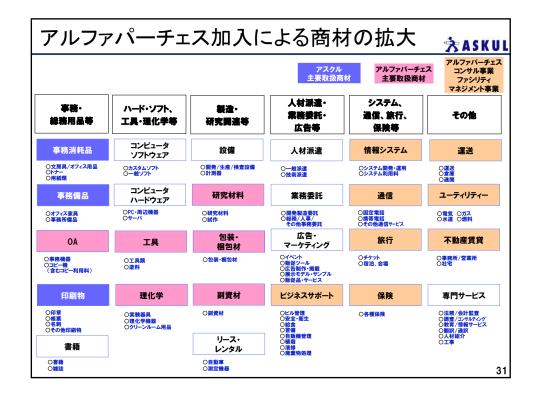
売上高10,480百万円 当期純利益19百万円 総資産2,874百万円 純資産324百万円 従業員:約75名(2009年12月31日現在)

【取得予定株式数(2010年9月17日現在)】

11,939株超(所有割合75.15%超) 取得価額 955百万円超(1株あたり80,000円)

株式取得の目的

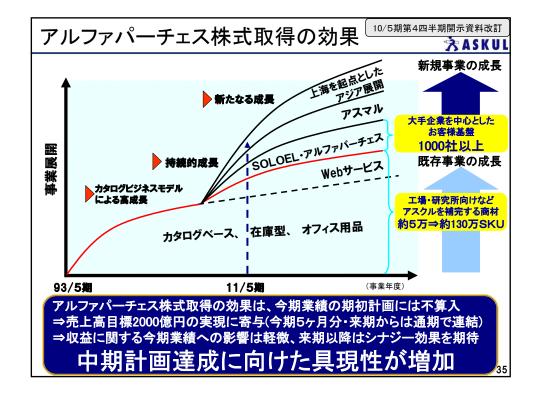
お客様基盤×取り扱い商材数 =相互補完によるシナジー効果 =アスクルグループの業績拡大







アルファパーチェス加入~中期計画との関係 * ASKUL 物販商材の圧倒的な拡充 (現状SKU数) オフィス用品 ・・・・ アスクル(約5万SKU) MRO間接材*・・・・ アルファパーチェス(約130万SKU) お客様基盤の拡大 中堅大企業 ・・・・・ SOLOEL、アルファパーチェス 中小企業 ・・・・・ アスクル 個人向け ・・・・・ アスマル ローコストブラットフォームの構築 ロジステックス ・・・ Bizex e-プラットフォーム e-プラットフォームイノベーション グローバル展開 アジア ・・・・・・・ 上海愛速客楽 *MRO間接材:お客様企業のオフィス・店舗だけではなく、工場、研究所で使用される消耗品・補修用品









《付録》

* ASKUL

①インターネット受注 売上高比率(単体)

	2011/5期 第1四半期	前期差	2010/5期 第1四半期	
インターネット経由	61.4%	+2.8ポイント	58.6%	
上 記 以 外	38.6%	△2.8ポイント	41.4%	

(注) 売上高比率は、受注ベースで記載しております。

②オリジナル商品(単体)

(単位:SKU)

	2011/5期 8月度	前期差	2010/5期 8月度
オリジナル商品数	3,421	+65	3,356
グリーン商品比率 (SKUベース)	64.4%	+9.4ポイント	55.0%
売上高構成比率	13.4%	+0.7ポイント	12.7%

- (注1) 各期8月度の単月実績を記載しております。 (注2) グリーン商品比率は、ナショナルブランドのアルクル限定販売商品を除いて算出しております。
- (注3) 売上高構成比率算出に用いるオリジナル商品売上高(分子)には、オリジナル・コピーペーパーは 含まれておりません。
- (注4) 各数値には、メディカル&ケアカタログ、メディカルプロカタログ、家具カタログ掲載品を含みます。

《付録》 RASKUL ③設備投資 2011/5期 2010/5期 第1四半期 第1四半期 科目名 【設備投資 437 △35.2% 674 51 △30.1% 73 有 古 定 資 産 385 △35.8% 600 形 古 定 資 産 (参 考) 建設仮勘定(注2) △68.1% 8 27 489 △88.6% 4,278 ソフトウエア仮勘定(注2) (注1)設備投資額は発生ベース額にて記載しております、減少分は反映しておりません。 (注2)建設仮勘定およびソフトウエア仮勘定は一部消費税等を含んでおります。 「アスクル・インターネットショップ」ECサイト機能改善 0.9億円 40